

1. 業務名

One Health の観点に立った野生動物医学・保全医学に関連する研究

2. 所属

(ユニット名) 生物・生態系環境研究センター

(室名) 生態リスク評価・対策研究室

3. 募集人数

1名

4. 業務の内容

生息域の破壊、過度の開発行為、地球規模の気候変動、外来種などと同様に、感染症は野生動物の絶滅リスク要因のひとつに挙げられている。また、世界各地で発生している新興・再興感染症（例えばニパウイルス感染症、重症急性呼吸器症候群（SARS）、エボラ出血熱等）の多くは、生息域の破壊、過度の開発行為、地球規模の気候変動等により野生動物と人との接触機会が増加した結果、発生するようになったと考えられている。このような現状から、野生動物の感染症研究は、単に疫学調査、病原体の解析、病態解明といった研究にとどまらず、生物多様性、公衆衛生、そして生態系との関連性をも取り入れ総合的に解析する、つまり「One Health」の観点で研究する必要がある。

本公募では、生物・生態系環境研究センターが実施している野生生物感染症モニタリング（特に鳥インフルエンザウイルスモニタリング）、野生鳥類大量死の原因究明、野生生物感染症のデータベース化等を、高度技能専門員（獣医師）と共同で実施し、得られた情報を分析することで野生生物感染症発生環境要因、宿主要因、社会学的背景等を明らかにする研究を自立的に実施できる能力を有する特別研究員を募集する。

従事する研究テーマは以下の（1）および（2）であるが、主に注力するテーマは、これまでの経歴等を考慮し決定する。

（1）「生物多様性に対する人為的環境攪乱要因の影響と管理戦略」

野生生物感染症モニタリング、大量死原因究明を担当するとともに、野生生物感染症の感染拡大プロセスおよび生態リスクを解明する。

（2）「希少鳥類の培養細胞を用いた高病原性鳥インフルエンザウイルス感染に対する感受性評価法の確立」

鳥インフルエンザウイルスのモニタリングを担当するとともに、希少鳥類の培養細胞を活用した高病原性鳥インフルエンザウイルスの病原性評価法を、生体感染実験の代替法として開発する。

5. 必要とされる専門分野及び資格

- (1) 獣医師資格を有すること。
- (2) 採用時点で、博士の学位、同等と認められる資格あるいは研究業績を有すること。
- (3) [4. 業務の内容] に挙げた研究テーマを実施可能な研究経験（細胞培養、ウイルス感染実験、遺伝子発現解析、病理解剖等）を有すること。
- (4) [4. 業務の内容] に挙げた研究テーマに関連する研究実績を有すること。
- (5) 他の研究者、研究所内外の関連機関と連携して研究を実施できること。
- (6) 調査研究に必要な日本語および英語によるコミュニケーション能力と研究成果発信能力を有すること。

6. 選考方法

書類選考後、面接を行い決定する。面接を行う者には別途連絡する。

7. 提出書類

- (1) 履歴書（写真添付、所定の様式を使用） 1 部
- (2) 研究業績目録（原著論文、著書、解説、口頭発表別） 1 部
- (3) 主要論文別刷り又はコピー（3 編以内）各 1 部
- (4) これまでの研究概要（A4 判 1～3 枚程度） 1 部
- (5) 研究に対する抱負（上記の [4. 業務の内容] に挙げた研究テーマの中で主に担当を希望するテーマを明記すること。A4 判 1～2 枚程度） 1 部
- (6) 所見を求めうる方 1 名の推薦状（氏名と連絡先を明記） 1 通
(応募書類の返却不可（選考後不採用になった場合は責任を持って処分します。))

なお、履歴書の職歴欄には、雇用先、雇用期間等を正確に記載して下さい。

また、国立環境研究所との間に雇用契約以外の契約・委嘱等の関係（共同研究、研究協力、労働者派遣、請負常駐等）がある場合は、その旨も記載して下さい。

8. 応募方法

郵送による。

（封筒に朱書きで「特別研究員（野生動物医学、保全医学）応募書類」と記載すること。）

9. 応募締切

平成 30 年 5 月 7 日（月）必着

10. 待遇等

(職種) 特別研究員

(雇用形態) フルタイム

(1日の勤務時間) 7時間45分

(時間外及び休日勤務の有無) 有

(給与) 「国立研究開発法人国立環境研究所契約職員給与規程」に基づき支給する。

基本給(日給): 14,960円より (規程に基づき決定)

(その他就業関係) 「国立研究開発法人国立環境研究所契約職員就業規則」及びその他関連規程によりご確認ください。

(参考) 国立環境研究所基本規程 <http://www.nies.go.jp/kihon/kitei/index.html>

11. 採用予定時期

平成30年6月1日以降のなるべく早い時期。

12. 雇用期間

採用日より平成31年3月31日まで。

なお、研究所の事業計画、勤務実績等の状況により平成33年3月31日(最長更新限度)までの間に限り、年度単位での更新があり得る。

13. 問い合わせ及び書類提出先

国立研究開発法人国立環境研究所

(住所) 〒305-8506 茨城県つくば市小野川16-2

(ユニット名) 生物・生態系環境研究センター

(室名) 生態リスク評価・対策研究室

(氏名) 大沼 学

(TEL) 029-850-2498

(E-mail) monuma (半角で@nies.go.jp を付けてください。)

14. 公募番号

H30-研-026